

アラ かん 新生活

ふちんかん

いつの間にかアラかんと呼ばれる年代になったが、この年になって生活をガラリと変えることにした。この連載ではその変容を書き記してみたいと思う。

第6回 インフラふらふら

前回は新生活の理由と物件選びについて話をしてきた。今回はインフラについて記してみたい。なお前回の記事を読み返してみると、契約した物件が事故物件であるかのように読めるかもしれないが、スクリーニングに上がってきたものにそういったものが多いというだけのことで、今回の物件はそうではない。

ちなみに大家＝不動産会社という物件なので自己物件ではある(^_^;)。

なんやかんで築50年なので

格安である大きな要因は築50年という古さである。今回生活するに当たって、電気/ガス/水道の基本インフラにそれなりに問題箇所があったので、記しておこうと思う。

おかしい玄関コンセント

契約は3月からだが、1月上旬の契約と同時に鍵を預かり、出入りできるようにしてもらった。

内見の段階でインターホンのカメラが使えないことが判明していた。しかし1月中旬に荷物の運び込みの際、ブレーカーを切り忘れて買い物に出かけ、帰ってきたらカメラが治っていた。通電でバッテリーが充電されて使えるようになったのかもしれない。

それよりも玄関にあるコンセントが使えないことが判明し、こちらは致命的だ。大家さんに連絡し、同じ棟にある電気屋さんに来てもらうが原因不明だ。電源にはつながっている（電圧はある）ものの、電化製品をつないでも動かない（電流が来ない）のである。玄関には電動バイクを置く予定なので、充電できないと困る。そこで玄関になるブレーカーから新たに電源を取って、コンセントをつけてもらうことにした。これは大家さん負担でやってもらった。



アラクン 新生活



ガス漏れ事案

1 / 18、ガス・電気・水道を一気に開通。ガスは立ち会いが必要なので休みを取った。簡単にすむかと思っていたら、微妙なガス漏れが見つかる。0.1ppm だったか、最小単位ではあるが検知されるとのこと。いったん様子見で、夜間に再度、チェックしてもらったが、やはりガス漏れ。2 / 1に大家さん立ち会いで再びチェックすることに。実際まだ住んでいるわけではないから問題ない。

2 / 1、やはりガス漏れ検知。玄関横のガスメーターを開けると、メーターに2本の管がつながっている。一本は玄関上の自宅に向かっているものの、もう一本は横の壁に入っていて行先不明。おそらく玄関と同じ階の別契約の店舗（もともと階下の店舗と階上の自宅という構造のため）に向かっているものと思われる。しかし店舗の方は別にガス契約がなされており、この管は使っていないはず。大家さんの同意を経て、この管を切断してテストしたが、やはりガス漏れ。メーターから各部屋に向かう管のどこかでガス漏れが起きている。しかし壁を壊してガス管そのものを見ることはできないので、ガス管内部にシーリング材を入れる工事をすることに。ちなみにこの費用は全て大阪ガス持ちである。わずかなガス漏れも許さない厳格なガス会社の仕様に大いに信頼を感じる。

2 / 4にシーリング工事。注入に朝から昼過ぎまでかかる。この間に各部屋にあった古いタイプのガス栓をカチットタイプに交換してもらう（この費用も大阪ガス持ち）。シーリングが乾いた夕方にガス漏れチェック。ようやくはじめての0ppm。2 / 18に最終チェックでもガス漏れは見つからず、この件は落ち着いた。契約から入居までに時間があつたから良かったものの、入居してから気づいていたら大変なことであつた。



水道が一番マシだった

水道は市役所の水道局に連絡する。ネットだと開栓が数日後となるので、1 / 18開栓したい当日に電話した。夕方には使えるようになっていた。

トイレの継ぎ手の部分から若干水漏れがあつたので、百均で買った水道パテを貼り付けたら治つた。

次回は「電化製品」について書くつもりです